

事務事業評価シート(平成22年度実績分)

(1) 事務事業の名称・位置づけ [Plan1]

白色のセルのみ入力してください。(コメントを見ながら入力)

事務事業コード	事務事業名	担当課	担当係名	所属長(課長等)名	担当者係長名
11001	消防水利整備事業	消防署	施設係	赤羽 守	小野 廣夫
		一次評価年月日	平成 23 年 6 月 15 日	連絡先(内線)	2601
事務事業実施の根拠・位置づけ	予算における位置づけ (会計区分・事業コード・事業名)	会計区分	事業コード	事業名(歳出予算見積書)	
	<input type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 特別	0902	非常備消防事業		
	<input type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 特別	#N/A			
	第四次総合計画後期基本計画の施策体系における位置づけ	章 (コード選択)	3章	夢のある地域形成	
		節 (コード選択)	5節	安全な生活環境をつくる	
		項[基本施策] (コード選択)	351	災害に強いまちづくり	
主な取り組み (コード選択)		3517	消防水利(防火水槽・消火栓)の整備・維持管理		
関連する計画等への位置づけ	<input type="checkbox"/> 第四次行財政改革大綱 <input type="checkbox"/> 3ヶ年実施計画 <input type="checkbox"/> 主要業務報告 <input type="checkbox"/> その他				
事務期間	(開始) 年度 ~ (終了予定) 年度	開始時期不明 <input type="checkbox"/> 終期設定なし <input type="checkbox"/>			

(2) 事務事業の内容(目的と手段を把握します。)[Plan2]

①対象(～に対して)……この事務事業はどんな人(誰・何)を対象に行っていますか。

地域住民、消防団員、自主防災組織

②目的(意図)(～という状態にするために)……この事務事業のサービスを提供することによって対象をどういう状態にしたいのですか。

消防水利の充実により、町民の生命・身体及び財産を火災等の災害から保護する。

③手段(事業内容)(～を行う)……上記①の対象に対して、どのような手段で②の目的(意図)を達成するか、事業の実施内容(サービスの概要)を記入します。

1	区からの要望を把握し、消火栓の新設・改良・移転を行い、地元分担金、一般財源で事業実施。
2	区からの要望を把握し、防火水槽の新設を行い、地元分担金、一般財源で事業実施。
3	
4	

(3) 活動指標の設定と推移……(2)の③サービスの概要(手段)の指標を表します。[Do1]

区分	単位	実績値		計画値		最終目標年度	
		21年度	22年度	22年度	達成率	22年度	年度(見込み)
①	指標名	消火栓の要望箇所	4	4	4	1.00	4
	説明	区から消火栓新設・改良・移転要望箇所	目標値設定の根拠 平成21年度と同数を見込む				
②	指標名	耐震性防火水槽新設要望箇所	10	10	10	1.00	10
	説明	区から耐震性防火水槽新設要望箇所	目標値設定の根拠 零細事業の補助率により実施				

(4) 成果指標の設定と推移……(2)の②目標(意図)の達成度を指標で表します。[Do2]

区分	単位	実績値		計画値		最終目標年度	
		21年度	22年度	22年度	達成率	22年度	年度(見込み)
①	指標名	消火栓新設・改良・移転	4	5	4	1.25	5
	説明	消火栓新設・改良・移転数	目標値設定の根拠 平成21年度と同数を見込む				
②	指標名	耐震性防火水槽新設	4	0	0	#DIV/0!	0
	説明	耐震性防火水槽新設数	目標値設定の根拠 国庫補助の分配方針により4基以上の設置がないと補助を受けられないため、3年毎(H23年度6基)の実施を見込む				

(5) 総事業費(コスト)の推移 [Do3]

※事業費の算定方法

決算書・予算書等に記載の数字 按分計算による算定

○総事業費(コスト概算) =①+②	(千円)	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度					
		決算	決算	決算	見込み					
対前年比	%		36.6	103.6	468.8					
A) その他の財源(国庫支出金・県支出金・地方債・分担金・使用料・雑収入など)	(千円)	14,754	615	757	32,591					
B) 一般財源(税金)	(千円)	9,109	8,115	8,284	9,787					
①事業費	(千円)	16,853	1,803	2,053	35,836					
対前年比	%		10.7	113.9	1745.5					
②人件費の概算	(千円)	7,010	6,927	6,988	6,542					
対前年比	%		98.8	100.9	93.6					
		課長	課長補佐	係長	一般職員	延べ人数	年間人件費	年間人件費	年間人件費	年間人件費
		H21 H22 H23	H21 H22 H23	H21 H22 H23	H21 H22 H23	H20 H21 H22 H23	/	/	/	/
町職員(正規職員)		0.00 0.00 0.00	0.25 0.25 0.25	0.00 0.00 0.00	0.74 0.74 0.74	0.99 0.99 0.99	7,010	6,927	6,988	6,542
臨時職員		人数及び人件費の算出は別シートで計算となっています。(人件費計算式)シート					0	0	0	0

指標化

(6) 項目別評価 [Check]

視点	項目別評価	判定	評価結果
必要性	1. 事業のニーズに変化はありますか	B	A 増加傾向にある B 変化していない C 減少傾向にある D かなり減少している
	2. 町(行政)が関与する必要性がありますか	A	A 町が主体となる必要がある B 町以外の主体で実施できるが町の関与は必要 C 町も関与するが関与の度合いを縮小できる D 町の関与のあり方を再検討する
目的妥当性	3. 対象の設定は妥当ですか	A	A 対象は現在の設定が妥当である Bの場合その具体的な内容をお書きください B 対象の変更の余地がある →
	4. 目的(意図)の設定は妥当ですか	A	A 目的(意図)は明確で上位の施策に合致している Bの場合その具体的な内容をお書きください B 目的(意図)は上位の施策に合致していない点がある →
有効性	5. 期待された成果は得られましたか(成果指標の目標値への達成度)	A	A 期待したとおりの成果があった C・Dの場合その具体的な内容をお書きください B 概ね期待したとおりの成果があった C 期待したほどの成果が得られなかった → D 成果が少なく今後も向上する見込みがない →
	6. 連携可能な事務事業はありますか(町以外の取り組みも含めて)	C	A すでに実施している A・Bの場合その具体的な内容をお書きください B 今後は可能性がある → C 今後も可能性はない →
効率性	7. 成果を下げずにコスト(事業費・人件費)を削減できますか	B	A 余地なし C・Dの場合その具体的な内容をお書きください B 当面は余地なし C 一部余地あり → D かなり余地あり →
公平性	8. 受益者負担は適切ですか	B	A 検討の余地なし C・Dの場合その具体的な内容をお書きください B 当面検討の余地なし C 一部検討の余地あり → D かなり検討の余地あり →
その他	9. 現在の事業内容(サービス)に対して、対象の声やニーズを把握していますか	A	A アンケートなど具体的な方法で把握している A・Bの場合その具体的な把握方法を、Cの場合その理由をお書きください B 日常業務の中で把握している → C 把握していない 各区から年度毎の要望を現地調査し把握

(7) 改革改善 [Action]

今後の方向性(上記評価結果をもとに今後の方向性を記入します。) **口を一つチェックしてください。**

- ア. 現状のまま継続する イ. 見直しのうえで継続する ウ. 終期設定 エ. 廃止 オ. 休止

〈今後の展開方針〉(イを選択した場合のみ口を一つチェックしてください)

- a 重点化する(コストを集中的に投入する等)
 b やり方を改善する(実施主体や実施の手段を変える)
 c 効率化を図る(コストを下げる)
 d 縮小する(簡素化する)
 e その他(別事務事業に統合する等)

(ウ・エ・オを選択した場合のみ記入してください)

時期(年度)

事業改善の経過

(前年度で記入した事業の方向性の具体化内容についての評価やこれまでに事業改善をした経過を記入します。)

要望により職員が現地確認。現地調査は、地元関係者(区・地主・耕地等)立会で話を進める。また、不定期に消防署で警防調査(水利状況)を行い今後予想される消火困難地域の対応を検討し関係地区等に調査実施。

事業の方向性の具体化

(誰が、何を、いつまでに、どうするか(5W1H)等の改革改善案を記入します。)

23年度予算見積書への反映 あり なし

町民の生命・財産を災害から保護するため今後も継続する。要望等ある区との調整及び関係機関と話を進め最善の方向を模索し、実施年度に向け事業を進める。平成23年度水利が悪い6箇所に耐震性防火水槽を設置予定。

[反映内容]

要望箇所の把握と必要性

(8) 所屬長 所見 (事務事業の総合評価及び今後の方向性について)

(評価事務事業の責任者の意見として、総合的な評価に関する所見を記入します。)

上位の施策の推進に貢献していますか。口をチェック

実施計画に基づき、各区の要望箇所を調査し、消防水利の改善を今後も継続する。

- A. 貢献度 大 D. 上位施策なし
 B. 貢献度 中
 C. 貢献度 小

- ア. 現状維持 イ. 見直しのうえで継続する ウ. 終期設定 エ. 廃止 オ. 休止

➡ 上記 a~e を選択